

「地盤工学会誌（土と基礎）」講座一覧

No.	講座名	期間	回数(掲載号数)	備 考
1	土質試験法解説	1953.4~1955.1	8回	
2	平易なる土質工学	1953.4~1955.1	8回	
3	演習問題	1953.7~1955.4	8回	
4	軟弱地盤及びその対策	1955.4	1回	
5	直接剪断試験	1955.4	1回	
6	土の三軸試験	1955.7	1回	
7	建築基礎工法	1955.7~1958.8	16回	
8	圧密試験法	1955.9	1回	
9	土の透水試験	1956.2,1956.4	2回	
10	原位置試験	1956.8	1回	
11	物理的地下探査法	1956.10,12	2回	
12	試料採取法	1957.2	1回	
13	地盤の載荷試験方法	1957.4,6	2回	
14	基礎杭の試験法	1957.8	1回	
15	土圧測定法	1957.10	1回	
16	現場締固め試験法	1958.2	1回	
17	土質工学用語解説	1960.8~1962.2	10回	
18	「粘土の科学」入門	1962.4~11	8回	
	土質工学用語解説(補足)	1963.1	1回	※資料
	土の性質	1963.1	1回	※問題点をさぐる
	室内試験	1963.2	1回	※問題点をさぐる
	野外試験(1)	1963.6	1回	※問題点をさぐる
	野外試験(2)-土質工学に地質学を生かすには-	1963.7	1回	※問題点をさぐる
	設計・施工(1) 道路	1963.8	1回	※問題点をさぐる
	設計・施工(2) 鉄道	1963.10	1回	※問題点をさぐる
	設計・施工(3) フィルダム	1963.11	1回	※問題点をさぐる
	設計・施工(4) 建築	1963.12	1回	※問題点をさぐる
	設計・施工(5) 水路・堤防	1964.1	1回	※問題点をさぐる
	設計・施工(6) 港湾	1964.3	1回	※問題点をさぐる
	粘土の力学 滞積粘土層の成因とその土性	1964.4~1964.11	4回	※セミナー
	粘土の力学 粘土のせん断強さと安定問題への適用	1965.1~1965.4	3回	※セミナー
	粘土の力学 粘土のレオロジーとその応用	1965.7	1回	※セミナー
	粘土の力学 粘土のせん断強さと安定問題への適用 (ディスカッションその1)	1965.9	1回	※セミナー
	問題点をめぐって(1)土の性質、室内試験	1964.4	1回	※座談会
	問題点をめぐって(2)野外試験	1964.5	1回	※座談会
	問題点をめぐって(3)道路・鉄道	1964.6	1回	※座談会
	問題点をめぐって(4)フィルダム・水路・堤防	1964.7	1回	※座談会
	問題点をめぐって(5)建築	1964.8	1回	※座談会
	問題点をめぐって(6)港湾	1964.9	1回	※座談会
19	土質技術者のための地質学	1964.10~1965.5	7回	
20	現場技術者のための土質工学 -掘削のポイント-	1965.8~1968.11	35回	単行本として出版
21	現場技術者のための土質工学 -計器による現場測定 のポイント	1968.12~1971.3	22回	
22	土の動的性質	1971.4~1972.9	16回	
23	情報の集め方と利用の方法	1972.3~1973.4	13回	
24	土質工学における図解法の使い方	1972.11~1973.9	11回	
25	土質分類	1972.11~1973.7	9回	
26	SI単位と土質工学	1973.4~5	2回	
27	地震学の新しい展開	1973.6~11	5回	
28	N値を考える	1973.11~1974.9	8回	講習会テキストとして使用
29	最近の地形学	1973.12~1974.12	11回	
30	土質基礎の回顧と点描	1973.9~1975.3	16回	
31	cとφを考える	1974.11~1975.8	9回	講習会テキストとして使用
32	振動公害とその対策	1975.1~1975.4	4回	
33	傾斜地造成の防災	1975.5~1975.8	4回	単行本として出版
34	最近の第四紀地質学	1975.5~1976.3	10回	
35	緑化工	1975.9~1976.9	11回	単行本として出版

36	シソーラス	1975.11~1976.2	4回	
37	土と基礎に関する構造物の挙動	1976.4~1977.7	14回	講習会テキストとして使用
38	土質基礎の回顧と点描・補遺	1976.6~1977.2	8回	
39	有機質土の工学的諸問題	1976.11~1977.4	6回	
40	シールド工法と土質	1977.4~1978.5	16回	講習会テキストとして使用
41	最近の地震学入門	1977.5~1978.5	11回	
42	建設工事と地下水	1977.8~1978.6	9回	
43	粒状体力学の現状とその応用	1978.6~1978.12	5回	
44	杭施工の問題点とその対策	1978.8~1979.5	8回	講習会テキストとして使用
45	自然は語る	1978.7~1979.2	6回	
46	圧密沈下を考える	1979.1~1979.9	9回	
47	設計における土質定数の考え方	1979.4~1980.2	8回	講習会テキストとして使用
48	施工と水	1979.6~1980.2	8回	
49	杭基礎の鉛直支持力を考える	1979.11~1980.8	9回	
50	柱状図は訴える	1980.3~1980.7	5回	
51	地震災害と地形・地質	1980.3~1980.7	5回	
52	土質工学におけるレオロジー	1980.9~1981.7	9回	
53	根切り・山留めの設計	1980.8~1981.5	9回	
54	土木計画における地形・地質情報の利用	1980.8~1981.4	8回	
55	土中水の不飽和流動	1981.5~1982.5	11回	
56	施工機械と土質工学	1981.6~1982.8	9回	
57	地盤の液状化	1981.8~1982.5	8回	講習会テキストとして使用
58	浅い基礎の支持力と変形に関する理論とその適用	1982.7~1983.5	9回	
59	土質工学における雪と氷	1982.7~1983.2	6回	
60	深い地盤改良の実際と問題点	1982.9~1983.8	10回	
61	土砂災害の予知と対策	1983.3~1984.7	16回	単行本（ライブラリー）として出版
62	土を測る－現場計測と施工管理	1983.9~1984.11	13回	講習会テキストとして使用
63	土の構成式入門	1983.6~1984.4	9回	
64	設計における土のせん断強さと c , ϕ の考え方	1984.5~1985.5	12回	32, 35と合わせて単行本（ライブラリー）として出版
65	土と農業	1984.8~1985.3	7回	
66	設計・施工上の留意点をさぐる	1984.12~1985.9	10回	講習会テキストとして使用
67	土の物理化学と土質工学への応用	1985.4~1986.6	14回	
68	地震応答解析のための土の動的性質	1985.6~1986.9	15回	講習会テキストとして使用
69	施工面から見た軟岩	1985.11~1986.11	11回	
70	海洋・海岸工学と土質	1986.7~1987.9	14回	講習会テキストとして使用
71	pFの原理と応用	1986.11~1987.9	11回	
72	土質データのばらつきと設計	1986.12~1987.9	10回	講習会テキストとして使用
73	遠心模型実験	1987.11~1988.9	9回	
74	新しい現地調査法	1987.11~1989.2	12回	
75	有限要素法による数値解析入門	1987.11~1989.4	13回	
76	土と基礎に関する技術者のための英語	1988.12~1989.7	7回	
77	場所打ち杭・埋込み杭の支持力と設計	1989.4~1990.6	10回	
78	地盤の熱的問題	1989.5~1990.11	12回	
79	地下空間－21世紀に向けて－	1990.4~1990.12	7回	
80	最近の締固め	1990.7~1991.5	8回	
81	建設工事における土と環境計測	1990.12~1991.12	11回	
82	人工島の建設技術	1991.1~1991.10	8回	
83	土の繰返し圧密	1991.6~1992.2	8回	
84	基礎設計における基準の背景と使い方	1991.11~1993.3	14回	講習会テキストとして使用
85	地盤と構造物の動的相互作用の解析法	1992.1~1993.3	13回	
86	建設工事における風化・変質作用の取扱い方	1992.5~1993.4	11回	
87	地盤の異方性	1993.3~1994.3	13回	
88	ジオテキスタイルを用いた補強土工法	1993.3~1994.4	14回	
89	カムクレイに学ぶ	1993.5~1994.4	12回	
90	地盤環境汚染の現状と対策	1994.4~1995.3	12回	
91	海洋構造物の支持力特性	1994.5~1995.7	15回	
92	高有機質土地盤の問題点を探る	1994.5~1994.10	6回	
93	掘削と周辺地盤の変状	1994.11~1995.10	12回	講習会テキストとして使用
94	地盤工学における逆解析	1995.4~1996.7	15回	

95	地盤工学者のための地形・地質情報の活用法入門	1995.8～1996.9	12回	
96	盛土材料としての堆積軟岩の諸特性と盛土事例	1995.11～1996.12	13回	講習会開催
97	石造文化財の保存	1996.8～1997.9	14回	
98	発生土および廃棄物の地盤工学的処理と有効利用	1996.10～1997.11	14回	講習会開催
99	地盤材料の小さくみでの非線形特性と地盤変形問題への適用	1997.1～1998.3	15回	講習会開催
100	地震発生メカニズムと予測	1997.10～1998.10	11回	
101	各種構造物の実例に見る地盤改良工法の選定と設計	1997.12～1999.4	17回	講習会開催
102	粘性土の動的性質	1998.5～1999.4	12回	講習会開催
103	土木技術と自然環境の保全	1998.11～1999.10	12回	講習会開催
104	液状化に伴う地盤の流動と構造物への影響	1999.5～2000.4	11回	講習会開催
105	杭基礎の鉛直荷重～変位特性の評価法入門	1999.7～2000.9	14回	講習会開催
106	不連続性岩盤の調査・解析と評価	1999.12～2001.1	13回	
107	土石流	2000.5～2001.2	9回	講習会開催・単行本
108	地盤工学分野における自動化施工と制御技術の現状	2000.10～2001.5	8回	
109	有限要素法の基礎と地盤工学への応用	2001.2～2001.12	11回	
110	軽量地盤材料の物性評価と適用	2001.3～2001.12	10回	
111	土構造物の景観設計	2001.7～2002.4	10回	講習会開催
112	土の構造とメカニクス－ミクロからマクロへ	2002.1～2003.3	15回	
113	落石対策	2002.1～2002.8	8回	
114	液状化メカニズム・予測法と設計法	2002.5～2003.4	12回	
115	移流分散解析入門	2002.9～2003.9	13回	
116	土の凍結と地盤工学	2003.4～2004.3	12回	
117	豪雨時における斜面崩壊のメカニズムと危険度予測	2003.5～2004.3	11回	講習会開催
118	リスク工学と地盤工学	2004.4～2004.9	6回	
119	地盤を診る物理探査	2004.4～2004.9	6回	講習会開催
120	遠心模型実験－実験技術と実務への適用－	2004.10～2005.3	6回	
121	土を固める原理と応用	2004.10～2005.3	6回	講習会開催
122	地盤材料の室内せん断試験の基礎から応用まで	2005.4～2005.9	6回	
123	建設・産業副産物の地盤工学的有効利用	2005.4～2005.9	6回	講習会開催
124	火山灰質土・その性質と設計施工－	2005.10～2006.3	6回	
125	GPSと情報化施工	2005.10～2006.3	6回	
126	ボーリング技術の最前線	2006.4～2006.9	6回	
127	土構造物のメンテナンス	2006.4～2006.9	6回	
128	土と基礎の生態学	2006.10～2007.3	6回	
129	実務のための圧密沈下予測とその対策技術	2006.10～2007.3	6回	講習会開催
130	粒子特性の評価と工学的意義	2007.4～2007.9	6回	
131	近接工事の調査・設計・施工技術	2007.4～2007.9	6回	
132	土砂災害ハザードマップ	2007.10～2008.3	6回	
133	アジア地域における地下水環境	2007.10～2008.3	6回	
134	関西国際空港の建設と地盤工学的諸問題	2008.4～2008.9	6回	「地盤工学会誌」に名称変更(20.4)
135	不飽和土・不飽和地盤	2008.4～2008.9	6回	
136	舗装と交通荷重に関する地盤工学	2008.10～2009.3	6回	講習会開催
	初級講座	2008.10～2009.9	12回	1～2回の読み切り
137	地盤情報データベース	2009.4～2009.9	6回	
138	メタンハイドレート資源開発の最新動向	2009.10～2010.3	6回	
139	土壌汚染対策技術の現状と事例	2009.10～2010.3	6回	
140	高松塚古墳壁画の保存対策	2010.4～2010.9	6回	
141	プログラミングで学ぶ有限要素法	2010.4～2010.9	6回	(初級講座)
142	地盤構造物の設計コードと信頼性設計法	2010.10～2011.3	6回	
143	土の化学・物理	2010.10～2011.3	6回	
144	地盤材料の構成モデル最前線	2011.4～2011.9	6回	
145	土構造物の耐震性診断と対策	2011.4～2011.9	6回	
146	地盤工学におけるリスクマネジメント	2011.7～2011.12	6回	
147	技術の伝承	2011.10～2012.3	6回	(初級講座)
148	わかって使うレーザー計測	2011.10～2012.3	6回	
149	リモートセンシング技術の地盤工学への応用	2012.4～2012.9	6回	

150	羽田空港D滑走路建設に込められた地盤工学の知恵と技術	2012.4～2012.9	6回	
151	地下水水位の変動が構造物に与える影響と対策	2012.10～2013.3	6回	
152	地盤工学技術者のための確率統計入門	2012.10～2013.3	6回	(初級講座)
153	室内試験・原位置試験結果の設計への反映	2013.4～2013.9	6回	
154	海面処分場の現状と将来性	2013.4～2013.9	6回	
155	河川堤防	2013.10～2014.3	6回	
156	地球温暖化がもたらす地盤の環境変化と災害	2013.10～2014.3	6回	
157	地下建設工事においてトラブルが発生しやすい地盤の特性と対応技術	2014.4～2014.9	6回	
158	補強土壁の長期性能と維持管理	2014.4～2014.9	6回	
159	グラウンドアンカーの維持管理	2014.10～2015.3	6回	
160	NATMとシールドトンネルの設計と実際	2014.10～2015.3	6回	
161	地盤工学で遭遇する化学的現象の理解	2015.4～2015.9	6回	(初級講座)
162	地盤工学のための個別要素法	2015.4～2015.9	6回	(初級講座)
163	放射性物質による事故由来汚染物の対策技術の現状	2015.10～2016.3	5回	
164	沿岸土木構造物の津波に対する対策	2015.10～2016.3	5回	
165	平成23年度紀伊半島大水害の実態と教訓ー「想定外」豪雨による地盤災害の軽減に向けた提言ー	2016.4～2016.9	6回	
166	火山による災害特性と防災技術	2016.4～2016.9	6回	
167	地盤工学と地質学における最新のかかわり	2016.10～2017.3	5回	
168	産業副産物・災害廃棄物の地盤工学的利用	2017.4～2017.9	6回	
169	地盤に刻まれた大地震の痕跡	2017.4～2017.9	6回	
170	南海トラフ巨大地震・津波発生の実実にせまる～強靱な社会の構築に向けて～	2017.10～2018.3	5回	
171	X線CTから見える土質力学	2017.10～2018.3	5回	
172	杭基礎の支持層確認と支持力確保	2018.4～2018.9	6回	
173	サンプリングの極意	2018.4～2018.9	6回	
174	耐震設計の考え方と地盤及び土構造物への適用法	2018.10～2019.3	5回	
175	耐震設計の考え方と地盤及び土構造物への適用法	2019(H31).1～2019.3	3回	
176	平野が抱える地盤工学的課題とその対策	2019 (H31) .4～2019.9	6回	
177	地盤工学に関する科学哲学と技術者倫理	2019 (H31) .4～2019.9	6回	
178	土を固める技術の動向	2019.10～2020.3	5回	
179	地盤工学における性能設計の基礎と実装～鉄道構造物設計標準を例として～	2019.10～2020.3	5回	
180	海底地すべりと津波	2020.4～2020.10	6回	
181	道路土工構造物の点検と防災	2020.4～2020.10	6回	
182	地盤工学における情報収集・分析・伝達技術開発の最前線	2020.10～2021.3	6回	
183	交通地盤工学に関する基礎講座	2020.10～2021.3	6回	
184	宇宙探査と地盤工学	2021.4～2021.9	6回	
185	フレッシュャーズのための『続・土質力学』	2021.10～2022.3	6回	
186	今こそ訪れたい地盤・地質が生んだ名所と名産	2022.4～2022.9	6回	
187	技術者を悩ませる特殊土のコレクション	2022.10～2023.3	6回	
188	擁壁の耐震設計の基礎と応用	2023.4～2023.9	6回	
189	地盤工学における模型実験	2023.10～2024.3	6回	
190	Shall we start データ駆動地盤工学? ～ベイズ・機械学習を中心として～	2024.4～2024.9	6回	
191	地盤工学×AI	2024.4～2024.9	6回	
192	プログラミングで学ぶ個別要素法	2024.10～2025.3	6回	
193	地盤災害の現地調査	2025.4～2025.9	6回	
194	悩めるフレッシュャーズのための地盤工学 (仮)	2025.10～2026.3	6回	

2025年3月6日現在